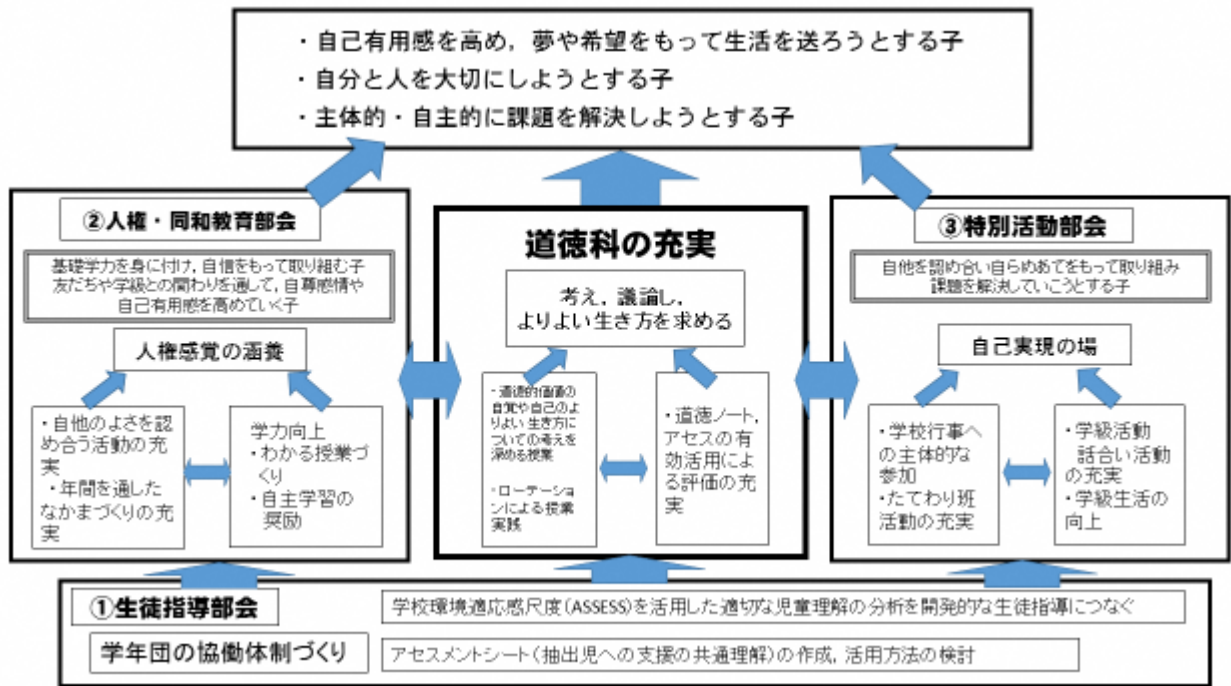


1 研究主題

自己を見つめ、互いを認め合い、よりよく生きようとする子どもの育成
 —各教科、特別活動、その他の教育活動と結びつけた道徳教育—

2 研究の具体



視点1

考え、議論し、よりよい生き方を求める道徳科

- ・話し合い、実践したいと思える授業展開の工夫
- ・道徳的価値の自覚や自己のよりよい生き方についての考えを深める支援

視点2

教職員の協働体制づくり

- ・教職員が学校として、学年として「育てたい子ども像」を共有する。
- ・学校適応感尺度（アセス）の活用。
- ・ローテーション道徳等を活用し、協働して教育活動にあたる。

3 研究の検証及び改善の手立て

- ① 児童の道徳ノートの記述、振り返りシート等の活用
- ② 学校環境適応感尺度（アセス）の結果分析、アセスメントシートの作成と活用
- ③ 県学習状況調査等の結果分析

研究主題に迫るために、3つの部会を設け、各部会ごとで協議、提案をしながら研究を進めていく。

授業研究では、外部講師を招き、深まりのある研修にする。研究討議において、授業実践における成果や課題等について話し合い、指導を受ける。討議後、残された課題については、次の提案授業へと引き継いだり現教推進部会などで話し合ったりするなどして、課題解決を図る。